



# 科学者が語りあう 戦争と平和憲法

第九条の会ヒロシマ  
22周年  
特別講演会

ノーベル物理学賞受賞者の益川敏英さんは「1960年代、人工頭脳に関する研究があったが、突然、関連する論文が発表されなくなつた。原子力潜水艦のソナー（水中音波探知機）に関する技術に役立つとして機密になつたと聞いた。社会に広く知つてもらい、さらに発展させるという『科学の精神』に逆行する」と特定秘密保護法を強く批判しています。



益川さんと同じく素粒子論が専門の物理学者、松田正久さんは愛知教育大学の学生に日ごろから平和の大切さを強く訴えています。米国とともに戦争する集団的自衛権行使を、お二人はどう考えられるのでしょうか。そして、特定秘密保護法は…。



いま何が大事か、全力で取り組むべきことは何か、学んで行動に活かしていきましょう。お誘いあわせの上、どうぞご参加下さい。

**益川敏英さん** 1940年愛知県生まれ。専門は素粒子論。現在、名古屋大学素粒子宇宙起源研究機構長、京都産業大学益川塾塾頭など。京都大学の助手時代、同僚の小林誠氏と共に発表した「小林・益川理論」が後年の実験によって証明され、2008年ノーベル物理学賞を受賞。

【著書】『学問学問、楽しくなくちゃ』『僕がノーベル賞をとった本当の理由』『15歳の寺子屋 フラフラのすすめ』など多数。

**松田正久さん** 1948年島根県生まれ。専門は素粒子論。現在、愛知教育大学学長。名古屋大学理学部卒業、広島大学大学院で理学博士号取得。名古屋大学研究生等を経て、愛知教育大学へ。「大学は、学問の自由が保障された学問の府であるが、その自由は『世界平和と持続可能な社会の形成に寄与する』ものでなくてはならない」が持論。

2014年3月29日(土) 13:30~15:30

広島平和記念資料館BF メモリアルホール

広島平和公園内 広島市中区中島町1.2 082-241-4004

参加費:999円 大学生500円

高校生以下、障がい者無料



広島駅から市内電車でドーム前 または袋町下車徒歩5分  
市内バスで、平和公園前下車すぐ

主催:第九条の会ヒロシマ 共催:広島県9条の会ネットワーク  
連絡先:fujii@jca.apc.org 070-5052-6580(藤井)